育成会　かわさき

知的障害者親の会　会報　№202
2021. 11. 1

川崎市への令和４年度予算要望書提出

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会　長　　美和　とよみ

秋も一段と深まり、日だまりの恋しい季節となりました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。いつも当会の活動にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、８月２５日（水）に川崎市へ令和４年度予算要望書を提出しました。相談支援事業やグループホームの整備等、９項目について要望しました。

今回は「新型コロナウィルスのワクチン接種」に重点を置いて要望しました。会員の皆様は、既にコロナワクチン接種、または、予約はお済みでしょうか。接種希望者が接種を諦めるということが無いよう、施設への巡回接種について強くお願いしました。市からも法人などに施設接種を働きかけているそうで、ワクチン接種担当と連携して進めていくとのことでした。相模原市で障害者専用の接種会場が設置されたとの報道がありました。川崎市に於いてもそのような場所が確保され、安心して接種を受けられるようになってほしいです。３回目接種の可能性が伝わる中、障害者がよりスムーズに安心してワクチン接種ができるよう切に願っています。

他に、相談支援事業・グループホームの整備・ショートステイ・人材の確保について、会員の声を届けました。特に人材の確保については、すべての要望にかかわることです。早急に対策を考えていただきたいです。要望書の詳しい内容については、支部役員におたずねください。また、当会ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

障害者手帳のカード化については、希望の方を対象に、令和３年１０月１日からカード形式の障害者手帳の交付申請の受け付けが始まりました。カード形式での交付を希望しない方は、現在お持ちの紙形式の手帳をそのまま使用できます。申請方法など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

ホームページ、リニューアル公開

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。

第５５回　手をつなぐ育成会関東甲信越大会　群馬大会

会計　　梅田　順子

開催日：７月１１日（日）１３：００～１５：３０
会　場：群馬県社会福祉総合センター及びオンライン配信
テーマ：「コロナに負けない！つなげていこう育成会活動」
～今だからこそ考える　育成会の大切さ～

新型コロナウイルス感染対策のため、今回の関東甲信越大会は群馬県の会場からハイブリッド型オンライン配信（ユーチューブ）で開催されました。

【大会式典】「手をつなぐ母の歌」が映像とともに流され、次に開式のことばがありました。

大会主催者挨拶では、群馬県手をつなぐ育成会の江村恵子会長が『様々な災害により、被災された方にお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルスにより活動が制限されてしまいましたが、頑張って乗り切りたいと思います。ワクチンの普及など希望の光も見えているので、みんなで力を合わせて頑張りましょう。』と述べました。

江村恵子会長

全国手をつなぐ育成会連合会久保厚子会長からは、『今回の新型コロナウイルスの流行で、あらためて私たちは病気の流行はもちろんのこと、経済や自然災害など様々な予期できない危機にさらされていると感じました。育成会でつながることは心の支えとなります。ネットでつながれば、広い日本も狭く感じます。とはいえ、顔を合わせて話すことの重要さは変わりありません。これからも、いろいろな人といろいろな方法でつながることが大切だと思います。』と挨拶がありました。

【中央情勢報告】　（一社）全国手をつなぐ育成会連合会　常務理事　　又村　あおい 氏

又村あおい常務理事

・報酬改定としては、日中サービス支援型グループホームや介護保険サービスへ移行しやすくする仕組み（共生型類型）が制度化されました。
・障害者差別解消法の改正があり、民間事業者にも合理的配慮が義務化されていきます。それに伴いより多くの人に知的障害者の特性を理解してもらう必要があり、全国に広がっているキャラバン隊の活動は重要な役割を果たすものになります。
・成年後見制度の見直しは、不正防止や利用しやすさの向上などがあります。育成会としては、さらに実際の課題を提示して、運用改善を求めていきます。

又村氏からは、『昨年４月より全国手をつなぐ育成会連合会は一般社団法人として、新しく発足しました。今までよりも事務局業務を充実させていきたいと思います。』と挨拶がありました。

【パネルディスカッション】

テーマ　「コロナ禍での育成会活動の現状と課題、今後の対応について」
パネラー　又村あおい　氏　（一社）全国手をつなぐ育成会連合会常務理事
小島　幸子　氏　関東甲信越ブロック手をつなぐ育成会連絡協議会ブロック長
佐々木桃子　氏　社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会理事長
古川　慎治　氏　国立重度知的障害者総合施設のぞみの園事業企画部長

３ページへ続く

１．新型コロナで知的障害のある人や家族が困ったことは？
２．ワクチン接種が始まりましたが、優先接種や事業所単位での集団接種は？
３．新型コロナでも「手をつなぐ」ために（前進したこと・新たな取り組み）
　この三点について話が展開されました。

古川慎治氏

古川氏からは入所施設ならではの困難があったことが話されました。特に最初のころは施設でのクラスターが全国で起こったことによる風評被害が酷く、職員や資材の納入業者なども辛い思いをしたとのこと。なんとか工夫して入所者の安全を確保していました。そんな中、実際に施設の職員に陽性者が出てしまったそうです。その後も何人かの陽性者が出たため、徹底的にPCR検査をして収束に一か月かかりました。災害同様に事前の準備が必要であると強く感じたそうです。

佐々木桃子理事長

佐々木氏からは、令和２年４月に東京都に要望書を提出し、９月に『在宅要介護者受入体制整備事業』が実施されたと報告されました。そして、新型コロナに感染した方の様々なケースの事例を５例あげて、東京の大変さを話しました。ワクチン接種についても、初めてのことだけに困難なことがたくさんありました。又村氏からは、家族や本人が感染した時のために、相談支援センターと繋がっておくことは大切であるとアドバイスがありました。

小島幸子ブロック長

小島氏からは、栃木県では今年２月に『在宅障害児者受入体制事業』が実施され、家族が感染した時に受け入れてくれるようになったと報告がありました。ワクチンは市区町村によって対応が違うし、医師の考え方もそれぞれで難しいところがあるとのことでした。

コロナ禍で進んだことはオンラインで、今までパソコンを触らなかった人も会議に参加できるようになったことです。東京では遠くて参加できなかった支部の方が会議に参加できるようになったという事例もあり、全国の会議でも各地の会長がオンラインで参加しているそうです。

最後に小島氏が地方の支部が活性化しないと育成会の発展はないと思うので、頑張ってつながっていきましょうと呼びかけました。

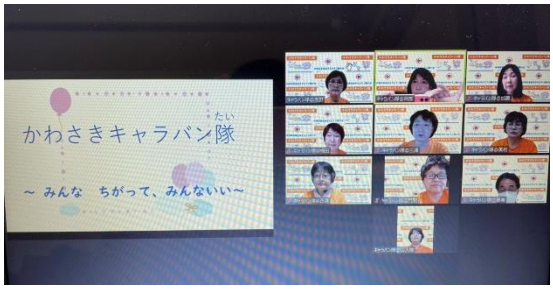
【大会宣言】最後に大会宣言が読み上げられ、『コロナ禍でも弛まぬ活動を通じて共生社会の実現を目指していくこと』を力強く宣誓されました。

生サポは 知的障がい児者・自閉症児者の 家族の安心を支えます
●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援 ●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。
当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。
主な補償内容
病気やケガで入院したとき 入院給付金
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金
虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金（地震・噴火・津波によるケガも対象）
賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金
就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事中事故対応費用補償 ※プランによって補償します
※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。
AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット
保険のお問合せはこちら
■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F
TEL：03-5321-3373 FAX：03-5321-4774
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL：03-6894-9110
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
ご入会のお問合せはこちら
一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内
TEL：045-314-7716 FAX：045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php
2020年12月現在の内容です。(D-004960 2022-03)

毎月１日付で加入できます。よろしくお願いいたします。

「かわさきキャラバン隊」「福祉教育研修」 オンライン講座

権利擁護委員会副委員長　　西澤　知子



８月１９日（木）「かわさきキャラバン隊」が、ＮＥＣプロボノ倶楽部の皆様のご協力を得て、川崎市社会福祉協議会開催の「川崎市小中学校教職員向け福祉教育研修」の中で、「知的障害擬似体験」を１１時３０分から２０分間、オンラインにて実演しました。

「緊急事態宣言発出中」ということで、研修会は集合開催からオンライン開催となりました。

先生方、関係者を含めると５０人以上の参加者を前に震えを抑えつつ、なかなか慣れないパソコンを操作しながら実演しました。

まだまだプログラムにも改善すべきところがありますが、学校での福祉教育において、「知的障害」についてもより多く取り上げていただける一助となるように、活動を続けていきたいと思っております。

共生社会の実現に向けて 障害者理解を全国に広げるための

「啓発キャラバン隊研修会」に参加して

権利擁護委員会委員長　　阿部　多賀子

９月２７日（月）地域福祉施設「ちどり」会議室にて、キャラバン隊９名、オンラインで参加しました。

最初に、又村あおい氏による「差別解消法の改正と合理的配慮」の話がありました。障害者差別解消法が今年６月に改正されたこと、皆さんご存知でしたでしょうか？合理的配慮の提供を国・地方公共団体だけでなく、民間事業者も含めて法的義務になるということです。現在、民間事業者は努力義務ですが、令和６年中までに法的義務になるということです。

素晴らしい進歩ではありますが、知的障害者がどのような特性があり、日々、困っているのかを知ってもらわなければ、どのような合理的配慮をすればよいのかわかりません。そこで「キャラバン隊」が、いかに必要かを又村氏は話されました。

次に、キャラバン隊「空」のオンライン講演では、参加者に知的障害擬似体験（障害のある人の不自由さを体験する）を動画にして見せていただきました。どのような配慮が必要かを考えるプログラムになっていて、とても参考になりました。

最後に、「ブレイクアウトセッション」が設けられ、各地のキャラバン隊の方々と意見交換ができました。

「かわさきキャラバン隊」は、権利擁護委員会から生まれて歩き始めたばかりですが、障害のある私たちの子どもが地域で暮らしていくために、活動を続けていきたいと思っています。

『手をつなぐ』を購読しませんか!!

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関紙『手をつなぐ』は、身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報満載です。年間購読料、３,９００円です。

関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡お願いします。

「障害者団体部会リーダー研修会」

副会長　吉野　明美

令和３年１０月６日（水）障害者団体部会リーダー研修会が川崎市複合福祉センター「ふくふく」に於いて開催され、川崎市内の８つの障害者団体から１９名が集まりました。

総合リハビリテーション推進センターの説明と見学、障害者支援施設「川崎ラシクル」の事業説明と見学、医療的ケア児・者への支援、相談支援体制の充実に、第５次ノーマライゼーションプランの説明があり、参加した団体のそれぞれの障害特性の違いを聞くことができました。

次に障害者支援施設「川崎ラシクル」の説明があり、当初、不安視していた人数より多くの知的障害者が入所できていることに安堵しました。しかし一定の期間を経て地域へ移行する通過型として見たときに、入所者の一日の流れに不安が残りましたが、試行の途中であるとお返事をいただいたことに期待したいと思います。

また、かねてより待ち望まれていた短期入所も開始する旨の報告がありましたので、利用の選択肢が増えてうれしく思いました。

令和３年度川崎市障害者作品展のお知らせ

障害者の創作作品を一堂に展示し、創作意欲や創作技術の向上を図り、障害者自らの生きがいづくりに繋げていくことで、広く社会に認識してもらい、障害者に対する理解を深めることを目的とします。

会　場　アートガーデンかわさき　第１展示室
期　間　令和３年１２月１５日（水）～令和３年１２月１９日（日）
主　催　川崎市・川崎市障害者社会参加推進センター
出展者　市内在住・在勤・在学の障害者（グループ）
出品物　絵画・写真・書・手工芸・俳句・短歌・川柳　等

昨年度展示作品

《お問い合わせ》
川崎市障害者社会参加推進センター
〒210-0834　川崎市川崎区大島 1-8-6
電　話　044-246-6941　FAX　044-246-6943
メール zksk@nifty.com

「令和４年　成人を祝う会」のお知らせ

日　　時　令和４年１月１５日（土）
午前の部　１０時３０分　成人受付開始　　１１時００分～　式典
午後の部　１３時００分　成人受付開始　　１３時３０分～　式典
場　　所　川崎市民プラザ　　主　　催　成人を祝う会実行委員会
＊式典のみの開催です。　　＊午前・午後とも同じ内容です。

緑陰訓練　～栃木県・「東武ワールドスクウエア」と「梨狩り」～

余暇活動委員会委員　　小澤　千枝

１０月２日（土）緑陰訓練を４７名の参加で開催しました。緊急事態措置が解除されたばかりとあって、感染防止対策を徹底してのバス旅行です。青空のもと、バス２台で「東武ワールドスクウエア」へ出発しました。車内は空気清浄機により空気が５分で換気されるそうです。車中では会話を控え、窓から見える景色を楽しんだり、ＤＶＤ鑑賞をしながら過ごしました。

「東武ワールドスクウエア」では、２５分の１に再現された世界遺産などの建造物を見学しながら、園内を一周すると、海外旅行をしたような気持ちになりました。昼食は「コンベンションハウス」で、対面ではなく一方向を向いて静かにお弁当をいただきました。その後バスで移動、「いわふねフルーツパーク」で「にっこり梨」の試食と梨狩りをしました。とても大きな梨で、親子で手を伸ばしてもぎ取ると、ずしりと重みがあり息子も驚いたようでした。隣接した農産物直売所でお土産を買ってバスに乗車。それぞれの解散場所へと帰って来ました。

コロナ禍においては、「新しい生活様式」を取り入れた旅行が一般的になるかもしれません。楽しい１日でしたが、コロナが落ち着き、マスクを外した笑顔が見える緑陰訓練がまた開催できるようにと願いました。

ホームページのリニューアルについて

書記　　加藤　敦子

皆さんは当会のホームページをご覧になったことがありますか？当会主催の研修会や余暇活動のお知らせや報告、様々な最新情報などをお届けしています。

しかし、今までのものはスマートフォン画面に対応していなかったため、Web かわさき協力のもと、この度長年慣れ親しんだサイトを一新しました。数か月前からホームページリニューアルのためのチームを結成し、月１回程度オンラインでのレビュー会を持ち、あれこれ検討を重ねて、ようやく完成に至りました。全体的に水色を基調とした優しい雰囲気に仕上がっています。知りたいことや読みたい内容を探しやすい工夫が随所に入れてあり、自信を持ってご紹介できるホームページができあがりました。

１１月１日より公開を予定しています。スマートフォンからもアクセスできますので、当会アドレス、もしくは「川崎市育成会」で検索していただき、この機会に是非ご覧ください。たくさんのご訪問をお待ちしております。

すったもんだの毎日

川崎支部　　板垣　ひとみ

コロナ禍で、閉じこもり生活が強いられていますが、我が家はいまのところ家族５人体調を崩すことなく過ごしています。特に大変と感じることは、息子（２６才）が、マスクを使用できないことです！体調良好でも、定期受診している遺伝科・眼科・整形外科・歯科があります。その通院の度に汗だくです！！！普通のマスクはすぐに外して落としてしまうので使用できません。あれこれ試し、ランニング用のネックガードをマスク代わりにしています。これだけは首から外しません。なるべく両手を握って、鼻と口を出さないようにしています。そんな状況で、コロナワクチン接種２回目も８月初旬には無事に終えました。注射も苦手なので、主人と私が付き添いましたが、予想に反して落ち着いて受けられたことは、嬉しい驚きでした。普通にマスクができれば良いなと思いますが、新型コロナ感染対策としては、あえて閉じこもり生活が良いのかも、と思えるこの頃です。

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和３年７月２６日～令和３年１０月１９日まで》

＜各種会議、行事＞

８月	３日（火）	三役会議	オンライン
	２５日（水）	川崎市への令和４年度予算要望書提出	ソリッドスクエア
	２６日（木）	第２回広報委員会	オンライン
	２７日（金）	第３回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
９月	３日（金）	三役会議	オンライン
	１０日（金）	第４回権利擁護委員会	オンライン
	２１日（火）	第５回運営委員会	オンライン
	３０日（木）	第３回研修事業推進委員会	オンライン
１０月	２日（土）	緑陰訓練（東武ワールドスクウェア他）	栃木方面
	１２日（火）	三役会議	オンライン
	１９日（火）	第６回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

＜対外行事＞

７月２６日（月）		川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
８月１７日（火）		川崎市社会福祉協議会障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
	１９日（木）	川崎市小中学校職員向け福祉教育研修会出張講座	オンライン
	１９日（木）	障害支援区分認定審査会	書面審査
９月	６日（月）	第１回成人を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
	７日（火）	川崎市障害者作品展実行委員会	サンピアンかわさき
	９日（木）	川崎市あんしんセンター業務監督審査会	書面審査
	１４日（火）	やまゆり事業推進委員会	オンライン
	１６日（木）	障害支援区分認定審査会	書面審査
	２１日（火）	やまゆり知的障害児者生活サポート協会理事会	オンライン
	２７日（月）	全国手をつなぐ育成会連合会啓発キャラバン隊研修会	地域福祉施設「ちどり」オンライン
	２７日（月）	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
	２８日（火）	川崎市事業団評議員会	事業団事務所
１０月	６日（水）	障害者団体リーダー研修会	川崎市複合福祉センター
	７日（木）	川崎市障害者施策審議会	オンライン
	７日（木）	やまゆり事業推進委員会	オンライン
	１４日（木）	川崎市地域差別解消審議会	オンライン

寄付金（敬称略・順不同）

高井　美恵子	幸区南加瀬	30,000円	角田　政行	幸区下平間	10,000円
三浦　ひろみ	幸区南加瀬	5,000円	美和　とよみ	多摩区宿河原	20,000円

※1,000円以上を記載しています。

２年ぶりの緑陰訓練

編集後記

新型コロナウィルスが世界を席巻し、私たちの生活スタイルが著しく変わってしまいました。緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだマスクが手放せず、手指の消毒が欠かせません。親の会ではそのような日常の中での活動を模索し、状況に合わせてこれからも情報を発信し、余暇活動や講演会などを行っていきたいと思っております。皆様の健康と安全を心からお祈りしています。 （神田　明子）

【も　く　じ】

Ｐ．１．．．川崎市への要望書提出
Ｐ．２．．．（一社）全国手をつなぐ育成会連合会　関東甲信越大会　群馬大会
Ｐ．３．．．（一社）全国手をつなぐ育成会連合会　関東甲信越大会　群馬大会続き／やまゆり広告
Ｐ．４．．．かわさきキャラバン隊オンライン講座／啓発キャラバン隊研修会／「手をつなぐ」購読
Ｐ．５．．．リーダー研修会／障害者作品展のお知らせ／成人を祝う会のお知らせ
Ｐ．６．．．緑陰訓練／ホームページリニューアルについて／すったもんだの毎日
Ｐ．７．．．親の会活動報告／寄付
Ｐ．８．．．緑陰訓練写真掲載／編集後記／もくじ

発行責任者　川崎市育成会手をむすぶ親の会　会長　美和　とよみ
〒213-0011　川崎市高津区久本3-6-22　地域福祉施設「ちどり」
TEL：044-812-2966　FAX：044-813-1216　http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki